

平成24年度「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」実績報告書

1. 事業名称

クリエイティブ分野(アニメ・マンガ人材養成産官学連携コンソーシアム)
アニメ・マンガ人材養成産官学連携事業

2. 事業実施期間

委託を受けた日(平成24年 7月31日)～平成25年 3月15日

3. 産学官連携コンソーシアム又は職域プロジェクトの別

産学官連携コンソーシアム

産学官連携コンソーシアム又は職域プロジェクトの名称

アニメ分野職域学習システム実証プロジェクト

関係するコンソーシアムの名称(職域プロジェクトのみ記入)

アニメ・マンガ人材養成産官学連携コンソーシアム

4. 分野名

④クリエイティブ(コンテンツ、デザイン・ファッション等)

「その他」分野名

5. 代表機関

■ 代表法人

法人名	学校法人片柳学園
理事長名	片柳 鴻
学校名	日本工学院専門学校
所在地	〒 144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22

■ 事業責任者

省略

■ 事務担当者(文部科学省との連絡担当者)

省略

6. 産学官連携コンソーシアム又は職域プロジェクトの構成員・構成機関等

(1) 構成機関（アニメ・マンガ人材養成産学官連携コンソーシアム アニメ分科会＝評価委員会）

	構成機関(学校・団体・機関等)の名称	役割等	都道府県名
1	日本工学院専門学校	幹事校/学習システムの評価、普及	東京都
2	日本工学院八王子専門学校	学習システムの評価、普及	東京都
3	女子美術大学	同上	東京都
4	宝塚大学 東京メディアコンテンツ学部	同上	東京都
5	東京工科大学	同上	東京都
6	専門学校東京デザイナー学院	同上	東京都
7	日本電子専門学校	同上	東京都
8	株式会社ボーンデジタル	同上	東京都
9	日本動画協会	産業界からの 学習システムの評価、普及	東京都
10	株式会社動画工房(練馬アニメーション協議会代表)・練馬区	同上	東京都
11	株式会社サンライズ(予定)	同上	東京都
12	株式会社スタジオ4°C	同上	東京都
13	画像情報教育振興協会	同上	東京都

(2)協力者等

氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
竹内 孝次	テレコム・アニメーションフィルム 最高顧問	アニメ分科会委員 アニメーション全般養成部会長	東京都
名和 誉弘	動画チェック	アニメーション全般養成部会委員	東京都
八巻 磐	ラピス 撮影監督	アニメーション全般養成部会委員	東京都
高木 真司	監督（3D）	アニメーション全般養成部会委員	東京都
森田 宏幸	監督	アニメーション全般養成部会委員	東京都
菊田 浩巳	楽音舎 音響監督	アニメーション全般養成部会委員	東京都
堀川 憲司	PAワークス 代表取締役	アニメーション全般養成部会委員	東京都
増田 弘道	日本動画協会 事業委員会副委員長	アニメ分科会委員 産業論部会長	東京都
福井 健策	弁護士	産業論部会 ビジネスワーキング委員	東京都
宮下 令文	小学館集英社プロダクション 総務部長	産業論部会 ビジネスワーキング委員	東京都
森 祐治	デジタルハリウッド大学大学院 専任教授	産業論部会 ビジネスワーキング委員	東京都
富岡 秀行	サンライズ 取締役	産業論部会 ビジネスワーキング委員	東京都
陸川 和男	キャラクターデータバンク 代表取締役	産業論部会 ビジネスワーキング委員	東京都
上原 弘子	日本電子専門学校 講師	産業論部会 歴史ワーキング委員	東京都
横田 正夫	日本大学文理学部 教授	産業論部会 歴史ワーキング委員	東京都
原口 正宏	リスト制作委員会	産業論部会 歴史ワーキング委員	東京都
氷川 竜介	アニメ評論家	産業論部会 歴史ワーキング委員	東京都
山口 康男	アニメ史家	産業論部会 歴史ワーキング委員	東京都
和田 昌之	エクスアーツジャパン 代表取締役	事業準備委員	東京都
森永祐一郎	海外マンガフェスタ 事務局長	事業準備委員	東京都
村松誠	アンドピクシーズ 代表取締役	事業準備委員	東京都
清水郁郎	マンガスクール中野 代表	事業準備委員	東京都
小野打 恵	ヒューマンメディア 代表取締役	事業準備委員	東京都

(3) 産学官連携コンソーシアムの下部組織（設置した場合に記載。職域プロジェクトの場合は記入不要）

7. 事業の内容等

(1) 事業の概要

- ◆アニメ分野における人材養成のための専門的技術水準の策定、これによるカリキュラムの検討
 - ・アニメーションの人材養成を教育機関と産業界が協力して考え、実際の教育機関のカリキュラムに反映できるような産業界就業のための学習要素やワークショップ・セミナーの手法の提案を産業界が行い、これを実施できるかどうかを教育機関が検討する。
- ◆カリキュラム検討委員会の設置、これによる検討
 - ・今年度は、アニメーション全般養成、産業論二つの部会で活動
 - ◇アニメーション全般養成:「アニメーション従事者全般に必要な要素＝基本的要素」とその教育
 - ◇産業論:産業構造、歴史、ビジネス、法務などの座学

(2) 事業の内容について（産学官連携コンソーシアム又は職域プロジェクトにおける具体的な取組内容）

- ◆カリキュラム検討委員会
 - ・アニメーションのプロ(すでに人材育成を試みている企業・関係者)により構成
 - ・カリキュラム作成に向け「必要な要素」(知識・技能・習熟度・スピード等)を抽出
 - ・「必要な要素」を出来るだけ明文化・数値化
 - ・アニメーション全般養成部会＝アニメのプロになるために、必要な要素の体系化
 - ・産業論部会＝プロデューサーから、子どもたちまで、アニメの知識を体系化
- ◆ワークショップ試行実施
 - ・デッサン力向上を目指すワークショップ『ボトムアップ・ブースター』試行実施
 - ・アニメーターの基礎、描く技の養成ノウハウの養成試行
 - ・1月25日(金)～2月8日(金)5回実施
- ◆セミナー試行実施
 - ・アニメを教える教員と学ぶ学生のためのセミナー「日本のアニメを学び尽くす」～歴史からビジネスまで
 - ・アニメ業界をめざす学生、教える教員に知っていてほしいアニメの知識の体系化
 - ・2月22日(金)～3月5日(火) 5日間10コマ実施

(3) 事業実績について (連携体制、工程、普及方策、計画時に設定した活動指標(アウトプット)・成果実績(アウトカム)の評価等)

【カリキュラム検討】

- ・コンソーシアム事業: アニメ分科会を評価委員会として、職域プロジェクトにカリキュラム検討委員会設置
- ・アニメーション全般養成部会
- ・産業論部会
 - ・歴史ワーキング
 - ・ビジネス・ワーキング
- ・両部会とも専門的技術水準を「専門要素」(知識・技能・習熟度・スピード等)として抽出し、仕分け、体系化、カリキュラムを検討
- ・検討した学習システム
- 「アニメーション全般養成カリキュラム」
- ・アニメ人材養成全般カリキュラム原型: アニメ産業就業に必要な要素を抽出、統合、仕分け、検討
- 「デッサン力向上を目指すワークショップ・カリキュラム」
- ・アニメータの基礎、描く技の養成ノウハウのカリキュラム化試行
- 「産業論セミナー・カリキュラム」
- ・産業史セミナー・カリキュラム
- ・ビジネス・セミナー・カリキュラム
- ・アニメ産業解説カリキュラム
- ・以上を15分冊のテキスト化

【試験的提供・評価】

- ・産業界、教育機関共同でワークショップ・セミナー実施、既存就業者、教員、学生が参加、検討したカリキュラムを試験的に提供、効果を評価した。
- ・デッサン力向上を目指すワークショップ『ボトムアップ・ブースター』試行実施
就業者・新人・教員・学生向け実施(カリキュラム1種×5回、総受講者延90名)
受講者評価で効果測定
- ・講座型カリキュラム開発実証
アニメを教える教員と学ぶ学生のためのセミナー「日本のアニメを学び尽くす」～歴史からビジネスまで
就業者・教員・学生向け講座を実施(カリキュラム10種、総受講者延150名)
受講者評価で効果測定

(4) 事業終了後の方針について(継続性、発展性 等)

【課題】

- ・今年度検討した、カリキュラムや学習システムの実証的導入、評価、普及に向けた気運づくりが必要

【今後の実施方針】

- ・提示されたカリキュラム案や学習システムの案の内、教育機関で正規カリキュラムとしてできること、課外で行うこと、産業界の協力が必要なことの検討

- ・指導の対象、既存就業者、在学志望者、他学・他分野の志望者、高校生、子どもたち、海外、また指導者の養成の順列、対象ごとの手法の検討

【今後の実施計画案】

- ・産業界・教育機関共同の自立推進母体「アニメ教育フォーラム」(仮)の設立
- ・産業界と教育機関の間で、検討された産業界就業への学習要素のカリキュラム化を検討
- ・産業界の協力により教育機関が、上記カリキュラム導入を検討
- ・既存就業者、志望者・学生、若年層向けに、課外講座、学外講座等で、今年度検討したワークショップカリキュラム、産業論セミナーカリキュラムによるワークショップやセミナーを、対象ごとに、教育機関や学内外会場で定期的実施を試行
- ・指導人材の育成プログラム実施、認定方法検討
- ・事業としての自立化を検討